

# 今月のイチオシ



**ガソリン生活**  
伊坂幸太郎(著)  
朝日新聞出版

のんきな兄・良夫と聡明な弟・亨がドライブ中に乗せた女優が翌日急死! パラッチ、いじめ、恐喝など一家は更なる謎に巻き込まれ…!?



**真田四代と信繁**  
丸島和洋(著)  
平凡社



**クッキーカウント**  
ロバート サブダ(著)  
大日本絵画



**日本語えとせとら**  
阿刀田 高(著)  
時事通信出版局



**神社の解剖図鑑**  
米澤 貴紀(著)  
エクスナレッジ

公民館図書室利用時間  
月曜日・金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。  
このほかにも、たくさん楽しい本が  
皆さんを待っていますので、ぜひご利用  
ください。



# 本とハッピー

# 交 流 ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご  
夫妻の登場者を募集していま  
す。自薦・他薦は問いません。  
皆さんどしどしご応募くださ  
い。【問い合わせ】役場企画課  
広報統計係 ☎24-5111  
(内線141)

地域包括支援センターだより

## 実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操♪

今月は『ながいサロン』を紹介します。

- 場所：永井住民センター
- 日時：毎週(木) 午後2:00～

### ☆ここが私たちの魅力☆

- 脳トレも実施中！きめこみ、パッチワーク、ちぎり絵、鉢カバーやティッシュケース作りなど、みんなで一生懸命取り組んで、『作品』として文化祭やバザーに出展している。
- 年に1～2回は温泉(送迎付き)に出かけたり、研修会などの行事の帰りにはファミレスでおいしいランチを頂いたり、みんな一緒に楽しんで喜べる時間も大切にしている。
- 誰かが遠くへ出かけてくれば、豪華なおみやげと楽しいおみやげ話で盛り上がる。
- サロンのメンバーで老人会を立ち上げるくらい精力的！

### みんなの声

・筋トレをすると翌日の朝が楽・ずっと続けてきて良かった・情報交換できる・みんなの中に入れて良かった・社会勉強になった・人のためだけでなく自分のためにもなるなど



『友達の輪が広がった！』と笑顔の皆さん

## 「やさい王国昭和村誕生と赤城の原開拓の足あと」

執筆を終えて

昭和村ボランティアガイドの会  
事務局長 島田 民夫

群馬県教育振興会平成二十八年九月十日発行「振興ぐんま」No.113号特集『ぐんま』の文化・自然遺産を訪ねるⅢ ―西・北毛地域―を執筆して思うこと...

このことは、利根郡の編集委員である利根川太郎さんから話をいただきました。私にとって開拓については、初めての事なので最初ためらいました。しかし、利根川さんと話しているうち、赤城の原の開拓は、立派な歴史的な文化遺産であることを確認し承諾しました。本村は、コンニャク芋全国生産日本一であり、レタス、キャベツ、ほうれん草、小松菜、白菜などなど群馬・日本を代表する生産地です。

依頼内容は、A4版用紙3段組で写真数枚、3ページ仕上げでした。タイトルは、ずばり「やさい王国昭和村誕生と赤城の原開拓の足あと」とし、時代は江戸、明治、大正昭和

平成までの時代を足早に書いてみました。そうしたことからの最初の構想段階ではかなりの字数であり、予定の3ページをはるかに超過していました。編集の必須項目の写真数ヶ所、「暁の赤城高原」の歌詞、文化・自然遺産の紹介、案内地図など考えると、文字数が大幅に減少していきました。

1. 昭和村の概況 2. 江戸・明治・大正・昭和初期の推移 3. 赤城開墾用水 4. 陸軍演習場だった赤城の原 5. 戦後の開拓と入植 6. やさい王国への歩みの六項目に構成し、紙面の都合上言い尽くせなかった部分があり誠に残念でした。本取材に当たり板戸の古澤昇さん、中野の吉澤安太郎さん、自分の堀道雄さんには貴重なお話をお聞かせ願ひ心より感謝を申し上げます。

赤城の原の開拓は、村内者をはじめ県内の人や遠く県外の人々により、厳しい劣悪な環境のもと、物のない貧しい社会のなかに、明日の希望と夢を求めて、遅しく生きてきた我々の先人に感謝を申し上げます、これらの事を後世に伝えるべく努めたいと思います。

## 「トキトキ」

実は子どもの頃は、いつかはこの村から出て行きたいと思っていました。

嫌な所があるなどではなくて、当時は、ただ純粋に他の場所に住んで、色々な世界に触れたいとか経験したいとかそんな理由からでした。私は、東京の大学に通っておりまして。東京は、とても楽しく色々と便利で刺激的な毎日でした。しかし、その一方でいつも帰宅するとき、赤城山や谷川岳などの山々に囲まれている昭和村をみると安心しました。離れたことよって当たり前だと思っていた人の温かさや、地域の居心地の良さなどに恵まれていたことに気がつきました。確かに東京は、便利で近代的で魅力的です。ですが、私にとっては4年間で十分でした。

今は、この昭和村で結婚や子育てなど様々な新しいことを経験して行きたいです。

そしていつかは、私を受けてきた昭和村の愛情を次の世代に返せるよう頑張ります。

◆◆◆◆◆  
次回の登場者は、林 太一さん(23歳・吹張)です。

はっらっ  
トーク



諸田 拓也さん  
(25歳・根岸)

### 次回登場者紹介

いつもお世話になっている後輩です。